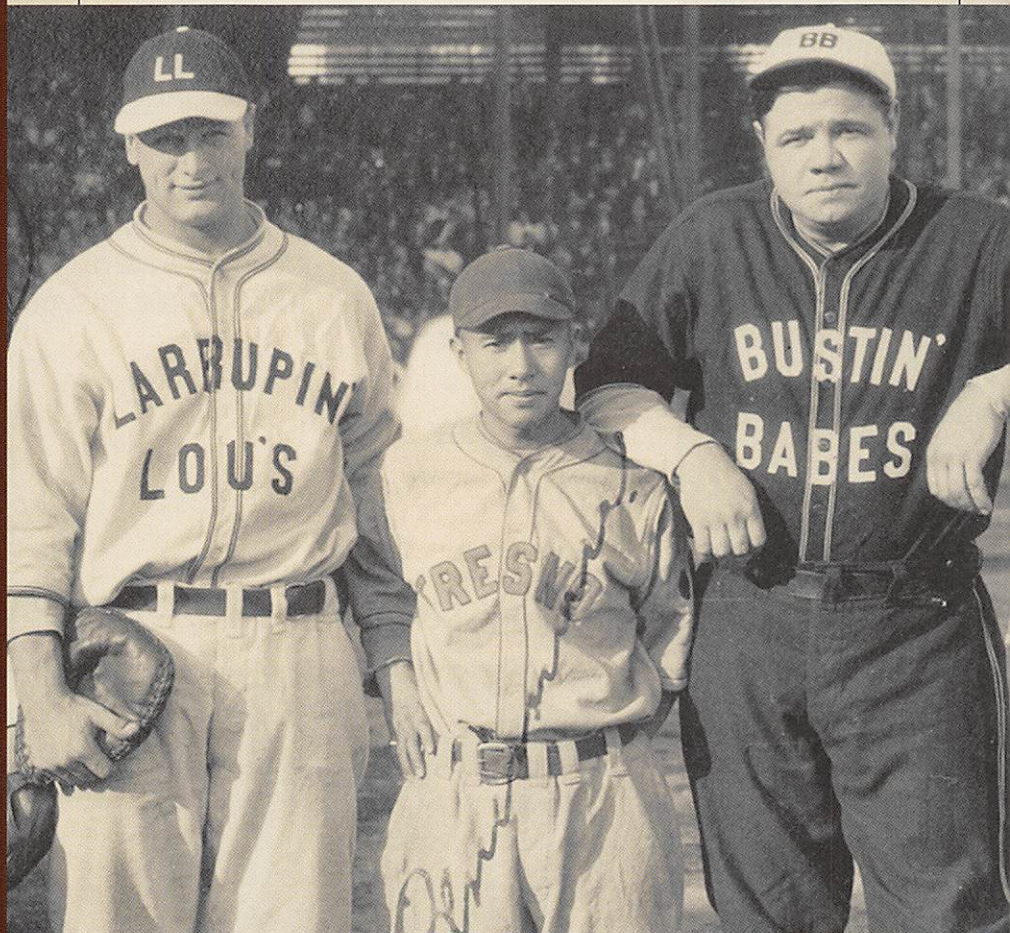


# 太平洋を渡る ベースボールの橋

## KENICHI ZENIMURA

JAPANESE AMERICAN  
BASEBALL PIONEER



BILL STAPLES, JR. | Foreword by Don Wakamatsu

生涯で野球場を四つ作った男——しかもそのふたつは日系人収容所の中。

別名「ディー・オブ・ダイヤモンド」。

広島からカリフォルニア州フレズノに移住した「日系人野球の父」銭村健一郎 (1900-1968) の

網羅的伝記を出版された野球史研究家ビル・ステイプルス・ジュニア氏をお迎えし、

ベースボールがとりもつ国境を越えた人間の移動について、

多角的にアプローチするシンポジウムを開催します。

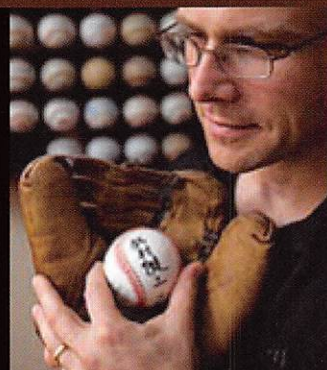
日時：2018年3月22日(木)

14:00~17:30 (13:30 受付開始)

会場：立命館大学 衣笠キャンパス  
創思館カンファレンスルーム

入場無料

事前申込不要



主催：立命館大学国際言語文化研究所

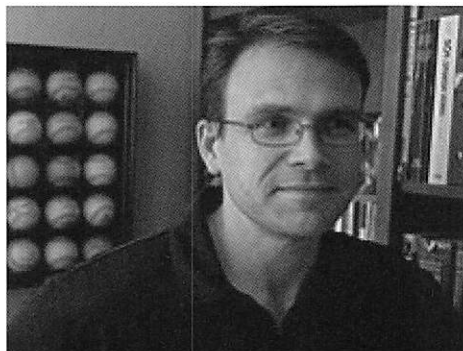


# Baseball's Bridge to the Pacific 太平洋を渡るベースボールの橋

## program

- 14:00** 開会挨拶 高橋 秀寿 (立命館大学言語文化研究所所長)
- 14:10** 基調講演  
「日系ベースボールのパイオニア 銭村健一郎」  
Kenichi Zenimura, Japanese American Baseball Pioneer  
講演：ビル・ステイブルズ・ジュニア (野球史研究家)  
Bill Staples, Jr.  
司会：吉田 恭子 (立命館大学文学部教授)  
※英語講演 (日本語への通訳あり)
- 15:10** 休憩
- 15:30** パネルディスカッション  
コメント：石原 豊一 (スポーツ社会学研究家)  
高野 勲 (スポーツ紙記者)  
正木 喜勝 (公益財団法人阪急文化財団学芸員)  
質疑応答  
司会：吉田 恭子 (立命館大学文学部教授)
- 17:30** 閉会

## 講演者プロフィール



ビル・ステイブルズ・ジュニア (野球史研究家)  
Bill Staples, Jr.

銭村健一郎の世界初の本格的な伝記 *Kenichi Zenimura, Japanese American Baseball Pioneer* を2011年にマクファーランド社から出版。アメリカ野球学会 (SABR) 会員、二世ベースボール・リサーチ・プロジェクト役員として銭村顕彰のため活動を続けている。クーパーズタウンのアメリカ野球殿堂で開催されたベースボールとアメリカ文化シンポジウムにも登壇。アリゾナ州チャンドラー在住。ウェブサイトは [www.zenimura.com](http://www.zenimura.com)

### 石原 豊一 (スポーツ社会学研究家)

立命館大学大学院国際関係研究科博士後期課程修了 (博士 国際関係学)。専門はスポーツ社会学。高校の教壇に立つ一方、野球のグローバル化とそれに伴うアスリートの移動について研究している。著書に『ベースボール労働移民—メジャーリーグから「野球不毛の地」まで』 (河出書房新社)、『もうひとつのプロ野球—若者を誘引する「プロスポーツ」 という装置』 (白水社)。

### 高野 勲 (スポーツ紙記者)

1966年、福岡県生まれ。高校時代に、池井優氏の著書『ハロー、スタンカ、元気かい』を読み、プロ野球外国人選手の取材に憧れる。現在は主にプロ野球データ記事を執筆。そのかわら、ランディ・バースやジーン・バッキーら阪神の元外国人助っ人選手も取材。英検1級、TOEIC980点。

### 正木 喜勝 (公益財団法人阪急文化財団学芸員)

専門は近代日本演劇史。博士 (文学)。野球に関しては論文「豊中グラウンドの誕生とその意義」、銭村健一郎の手紙を取りあげた「片岡勝旧蔵野球資料」の発表、展覧会「小林一三と野球」 (小林一三記念館、2015年) の企画などがある。

お問合せ先 立命館大学国際言語文化研究所

TEL: 075-465-8164 E-mail: [genbun@st.ritsumei.ac.jp](mailto:genbun@st.ritsumei.ac.jp)

URL: [http://www.ritsumei.ac.jp/acd/re/k-rsc/lcs/lcs\\_index.htm](http://www.ritsumei.ac.jp/acd/re/k-rsc/lcs/lcs_index.htm)